

慈眼

第34号

発行所
佐賀市西田代1丁目4-6 本行寺内
TEL 0952-24-1813
FAX 0952-24-1813

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者
松野 邦 俊

佐賀県護法大会 唐津大会

来る、平成二十二年十一月七日
(日)唐津くんちの余韻が残る唐津
市民会館に於いて、平成二十二年度
佐賀県護法大会が開催されます。こ
の大会は過去四年間、佐賀地区、小
城・三日月地区、杵藤・有田・伊万里
地区、多久・唐津地区にて開催され
た地区研修道場の集大成となるもの
で佐賀県檀信徒一丸となりお題目の
下に結集するものです。

宗門では、平成三十三年に迎える
日蓮大聖人ご降誕八百年に向け「立
正安国・お題目結縁運動」を展開し、
「いのちに合掌」をスローガンに
「合掌こそは、お釈迦様の理想の社
会。お互いがお互いを敬いあい、い
のちの尊さに気づくこと。お題目の
ご縁をいただく私たちが自ら人を敬
い、いのちの尊さを人々に示し、社

会を明るくすること」を目的に運動
を進めています。



武雄大会法要

われわれ日蓮宗佐賀県の檀信徒も
この宗門の目的に沿うべく今回の護
法大会のテーマを「立正安国・お題
目結縁運動」―いのちに合掌―とし、
お題目をお唱えすることはすべての



和讃奉納

いのちを敬うことであり、私たちの
いのちは両親からの初めてのプレゼ
ントですので感謝し、輝かすことが
大切です。

こうして皆様が一堂に会してお題
目をお唱えすることは、たとえひと
りひとりの力は小さくとも異体同心
の気持ちで手を結び合い心を同じく
するならば、必ずや大きなエネル
ギーとなります。お題目の心を家族
に・まわりの人々に伝え私たちの社
会を明るくより良い環境に変えてま
いりましょう。

皆様のご参加を心より願ひし、
共にお題目をお唱えして合掌の輪を
広げてまいりたいと存じます。

池上本門寺御会式団参

日青会主催による「佐賀県日蓮宗
青年会結成五〇周年記念・池上本門
寺御会式団参」を行うこととなりま
した。十月十二日から十四日までの
二泊三日の日程で、柴又帝釈天↓皇
居↓池上本門寺(泊)↓日光東照宮↓
華厳の滝↓鬼怒川温泉(泊)↓浅草寺
を巡る予定です。旅行代金は七万九
千円で八月三十一日(火)締め切りと
なっております。

この団参に一人でも多くの方に
参加頂き、参加された皆様の心に残る
団参にしたいと計画しております。沢
山のご参加お待ち申し上げて居ります。

お問い合わせ先

◎菩提寺

◎トップツアー株式会社 佐賀支店

連絡先 担当者 古賀

☎〇九五二―二六―一三三―



池上お会式

【特集】

《お会式》
えしき

日蓮大聖人が亡くなられた十月十三日に前後して行われる法要が「お会式」であります。宗祖大聖人のご命日に合わせて、みんなで集まり、報恩感謝の気持ちと共に、お経やお題目を唱え、改めて大聖人の教えを強く心に刻み込むための行事です。

日蓮大聖人は、弘安五年(一二八二年)十月十三日午前八時頃、東京の池上の地において、六十一歳で入滅されました。その場所こそが、今の池上本門寺(東京都大田区)であり、盛大なお会式が営まれることでも有名であります。江戸時代には、既に江戸を代表する大きな行事になっていったようで、現在でも三十万人を越すほどの人出で賑わいます。

また、池上本門寺に限らず、日蓮宗の各寺院でも、お会式が大きな年間行事の一つとして、檀信徒の皆様が親しまれていることは言うまでもないことでしょう。そもそもお会式という言葉は、法会の儀式を略したもので、お経を読んだり説教を聴いたりする集まりのことであり、仏教各宗派で使われます。

しかし日蓮宗では、お会式とは日蓮大聖人の命日に行う法会を指し、大聖人はもとより、私達を教え導いて下さった、様々な先師に感謝する日となっています。このお会式の付き物として有名なものが、「桜の花」と「万灯」であります。

「桜の花」は、大聖人が入滅された時、その近くにあった桜までもが、季節外れだというのに満開になり、人々と一緒に嘆き悲しんだという言い伝えに由来します。お会式に合わせて桜の造花が作られお寺に飾ってあるのを、一度は見られたことがあるのではないのでしょうか。

もう一つの「万灯」とは、たくさんの方をともして、仏様や菩薩様の供養を行うという意味を持っています。お会式の時も、人々が大きな灯りを持ち、高く掲げて、日蓮大聖人の遺徳を讃えてお供えをするのです。

池上本門寺のお会式が有名になったのは、その「桜の花」と「万灯」の美しさからでもあるようで、いつの頃からか、錦絵や紋の描かれた大きな提灯に桜の造花を飾ったものがみられるようになり、現在では様々な色の電球で豪華に彩られたものになっています。

さらに万灯の光に合わせて、笛や太鼓でお囃子を鳴らし、火消しの纏を振り、

本門寺までの参道を練り歩く万灯講の存在が、池上のお会式を特別なものであると強く感じさせてくれます。

本門寺にお参りなされる方は、この本場池上独特の、明るく賑やかで迫力のあるお会式を、沢山のひとと一緒に、目でも耳でも楽しむことができますでしょう。

お会式では、「桜の花」「万灯」がどうしても目立ってしましますが、もう一つ大事なものがありません。それは、檀信徒の皆様がお参りをし、お供えをされるお線香(お香)であります。仏様が最も喜ばれる、香・華・灯の三つのお供えを、いつでも忘れずに揃えたいものです。

日蓮大聖人は、仏様の大切な教えを沢山のひとに伝えて、幸せになってもらうことを喜びとされました。皆様の菩提寺のお会式の日には、是非お参りをし、お線香をさしあげ

て、日蓮大聖人に、また皆様のご先祖様々に、「しっかりと教えを守っていますよ」とお伝えし、喜んで頂きましょう。



池上お会式

技術本位 **佐賀の老舗** 信用本位

辻の堂の仏だんや

(株)本庄仏具総本店

佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952-23-2955(代)

冠婚葬祭 (株)平安閣エヌビーオー互助会

セリエンス

本下株式会社 草苑

北佐賀草苑
TEL 0952-30-4040
FAX 0952-30-4043
佐賀市兵庫町1115

大和草苑
TEL 0952-64-8448
FAX 0952-64-8447
佐賀市大和町尼寺722-1

OMEGA ALPHA SAAL

本下株式会社

草苑

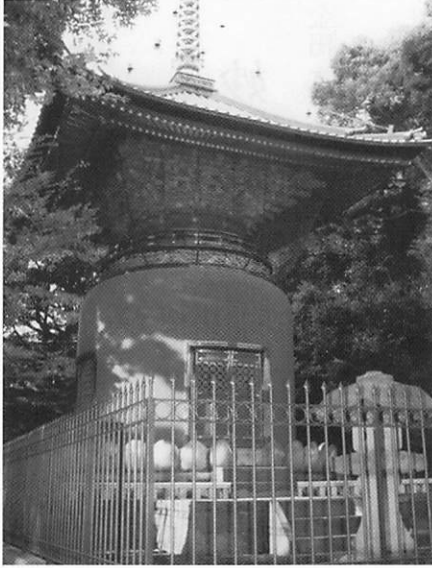
南佐賀草苑
TEL 0952-25-1255
FAX 0952-25-1088
佐賀市本庄町本庄951-10

鳥栖草苑
TEL 0942-82-6430
FAX 0942-82-6502
鳥栖市古賀351-1

【池上本門寺】

お会式で有名な池上本門寺は、正式名を「長栄山本門寺」と称し、東京都大田区池上にあります日蓮宗大本山の一つで、日蓮大聖人御入滅（お亡くなりになりました）の霊地として広く知られております。いつ頃開かれたお寺かは諸説ありますが、日蓮大聖人は大檀越（信者）の一人で、池上宗仲公の邸宅（現在の大坊・本行寺）にて、弘安五年（一二八二年）お亡くなりになりました。その後お弟子の日朗上人に、法華経一部の文字数に相当する六万九三八四坪の土地を寄進して境内地としたとされた説が有力であります。

弘安五年九月、日蓮大聖人の持病が悪化し療養の為、身延山を出発され、常陸（現在の茨城県）の湯に向かう途中、檀越池上宗仲公の邸宅に立ち寄りられました。しかし、宗仲公や弟子達の手厚い介抱もむなしく病状はさらに重くなり、翌十月十三日辰の刻（午前八時



池上茶毘所

大聖人の七回忌（一二八八年）に造られた国の重要文化財である祖師像（等身大を上回る日蓮大聖人座像）や日蓮大聖人自筆のお手紙等の古

頃）多数の弟子・檀信徒に見守られながら、六十一年の法華経弘通の生涯を終えられました。翌十四日葬送の儀を厳修し、聖人の遺骸は茶毘に付されました。御遺骨は弟子による配分も終わり、十月十九日（日蓮大聖人の初七日忌）池上を出発、身延の地にて納骨の儀が執り行われました。その後の本門寺は、日蓮大聖人入滅の霊場として次第に多くの末寺が加わり、徳川家やその他の有力武士の庇護のもと発展して参ります。徳川家康側室の養珠院お万の方や前田利家側室寿福院も諸堂建立に外護を加えました。中でも加藤清正公の帰依は厚く、四十間四面の祖師堂と「此経難持坂」と呼ばれる九十六段の石段を造営したと伝えられております。

しかし、第二次大戦の戦災でほとんどの建物が焼失しましたが、幸いにも日蓮

文書が多少持ち出され難を免れました。昭和二十三年以降復興事業が重ねられ現在に至っております。

【大坊本行寺】

正式名を「長栄山本行寺」といい、通称「大坊」と称されています。日蓮大聖人御入滅の地であり本門寺の近くにあるお寺です。

弘安六年（一二八三年）の創立で、日蓮大聖人の檀越である「池上右衛門大夫宗仲」が邸宅内に法華堂を建立し、日蓮大聖人が身延より到着され御入滅後、日朗上人弟子の日澄上人にこの地を寄進し、法華堂を改め本行寺が開創され、大坊と呼ばれております。数度の火災に見舞われましたが、「御臨終の間」と呼ばれる建物や「御寄掛の柱」といった史跡があり、昭和十一年に宗祖入滅の地として都の旧跡に指定されております。

また、このお寺に「御会式桜」と言われる伝承があり、日蓮大聖人が御入滅なされた際、庭にあった桜の花が一斉に開いたと言い伝えられております。以来全国各地で行われているお会式で、桜の花の造花が用いられている根源となっております。

平成24年度・創業90周年、仏壇・仏具の総合専門店

光 古賀仏壇店

3代目 代表取締役社長 古賀宏昭

本社 〒840-0813 TEL(0952)23-5521
佐賀市唐人町1丁目2-25 FAX(0952)23-5564



手を合わせるころを大切に・・・

山本仏具
佐賀市呉服元町10-12 23-4308
〒840-0824 ☎ (0952)

- ・寺院用具一式
- ・前卓
- ・銘金物
- ・宮殿
- ・股机
- ・登高座
- ・修復
- ・須弥壇
- ・経
- ・仏具
- ・仏壇
- ・天蓋
- ・美術彫刻品
- ・珠
- ・仏像
- ・宗教絵画
- ・神殿用具
- ・瑠璃
- ・漆
- ・其の他
- ・仏像彫刻
- ・箔

寺院紹介

《天拝山 妙円寺》

小城市三日月町金田一〇〇

〔交通〕

昭和バス「久保田」バス停より徒歩五分、祐徳バス「徳万」バス停より徒歩七分です。

JR唐津線東多久駅より徒歩十五分

〔由緒〕

永享五年（一四三三）の創立で御開山は久遠成院日親上人であります。御開基は日円上人で天台宗より改宗されました。現在は、当山第二十四世も勤められ、第二十六世として再就任されました大峰妙玲住職が法灯を継承されております。



大峰 妙玲上人



妙円寺山門と本堂

〔天拝のお祖師さま〕

後奈良天皇（在位一五二六～一五五七）の勅願所でありました京都本満寺の第二十九世日雄上人が開眼された天拝高祖日蓮大菩薩の木像は、後陽成天皇御病気の折、本満寺貫首が宮中に参内し祈祷せられた時に拝せられた尊像で、「天皇、病床より起き出でて合掌し拝せられたる尊像」として伝えられ、のち勇猛院日幸上



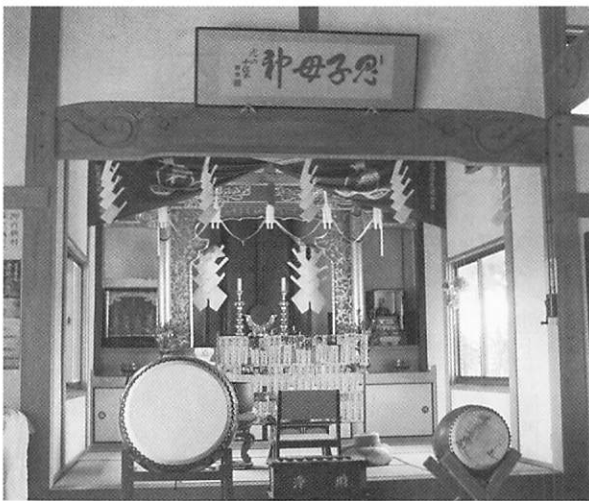
▶お祖師さま

人によって郷里である三日月村に持ち帰られました。故に天拝の御祖師さまと親しまれ山号も天拝山と改められました。現在では日蓮宗准宗室に指定され、本堂御宝前の御厨子に安置されておりますが、特別な時にしか御開帳がなく、平成四年の本堂落慶式以来御開帳されておられません。

〔子安鬼子母神〕

明治期、十九世日宝上人代に感得勧請されました子安鬼子母神は、当時の篤信者の方々の髪を植毛されており、毎年十二月八日の鬼子母神祭にのみ御開帳があり、その御尊像を現わされます。

◀鬼子母神



総合葬祭 有限会社 黄城

うん かく

光雲閣

葬祭会館

〒845-0022 佐賀県小城市三日月町久米2134-1 (JR小城市西)

黄城代表番号 ☎(0952)-73-3938

光雲閣 ☎(0952)-73-2020

設計 石の雅 施工

www.ishinomiya.jp

平川石材店

小城市上町 ☎73-4738

石材・墓石に関することは、すべてお任せ下さい。